

各 位

いわて 3D プリンタ活用研究会代表
公立大学法人岩手県立大学 i-MOS センター長 澤本 潤
(i-MOS:いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター)

平成 27 年度いわて 3D プリンタ活用研究会第 2 回研究会の開催について

いわて 3D プリンタ活用研究会では下記のとおり本年度第 2 回の研究会を開催しますので、ご参加ください
ますよう、お願いいたします。

なお、ご参加いただける場合は、9 月 24 日（木）までに、別紙申込書により申込み願います。

1 開催日時

平成 27 年 9 月 30 日（水）13:00～（開場・受付 12:30～）

2 開催場所

ホテル東日本盛岡 14 階 オーロラの間（岩手県盛岡市大通 3 丁目 3-18 TEL：019-625-2131）

3 開催内容

1.基調講演 三次元造形技術の活用に関する研究内容等の紹介

◆13：00～14：00 基調講演① 芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 安齋 正博氏

テーマ：3D プリンターで変わるものづくりの未来？ ～積層造形の基礎と応用～

最近 3D プリンター（Additive Manufacturing：積層造形）がなにかと話題になっている。USA で関連分野に予算を
つけたり、makers という 3D プリンターを使えばものづくり革新に拍車がかかるといったベストセラーが出版され
たりしたことに起因している。本講演では、積層造形のメリット・デメリットについて述べ、その応用を詳解する。
実際にこの技術がものづくり革新のエンジンとして使えるのかどうかについて考察する。

◆14：05～15：05 基調講演② 株式会社コイワイ 代表取締役 小岩井 豊己氏

テーマ：「3D プリンター」によるモノづくりの最前線から

近年 3D プリンターが、“ものづくりの革命児”として脚光を浴びている。
コイワイでは、2007 年より鋳物造りに 3D 積層砂型工法を導入。最大 1/10 もの工期の短縮と精度の向上、また熟練
技術に頼らざるを得なかった鋳造作業をデジタル化して、経験の浅い若い技術者にも高精度な物造りが出来る環
境を造り上げた。さらに、2012 年には 3D 金属粉末積層工法を導入。医療用インプラント、航空宇宙エンジン部品などの製造
を手掛け、3D 金属粉末工法の市場開拓中である。
3D プリンターは革命児か？ 物造りの最前線からの紹介。

◆15：20～16：20 基調講演③ 済生会八幡総合病院 整形外科部長 進 訓央氏

テーマ：整形外科領域における 3D プリンター活用の実際

3D プリンターは、近年非常に身近なものとなっている。我々は、2010 年よりマッキントッシュ用のソフトである
OsiriX を用いて 3 次元画像を構築してきたが、2013 年より STL ファイルとして出力したデータで実体模型を作成して
いる。骨折、脊椎などの模型ならびに人工肩、膝関節などに対するカスタムメイドガイド等を作成し、術前計画及び実
際の手術に用いている。これらについて文献的考察を加えて検討する。

2.一般講演 三次元造形技術の活用事例等の紹介

◆16：25～17：00 一般講演 中辻金型工業株式会社 総括部長 戸屋 加代氏

テーマ：「デジタルモールド@プレス」の技術がもたらす課題と可能性について

試作開発や製造現場で活用される 3D プリンタ。これまで様々な工法にチャレンジしてきた金型屋がその 3D プリン
タを活用し、製品ではなくその製品を作るためのプレス金型を作る「デジタルモールド@プレス」にチャレンジした。
また、市場ニーズにおいても「多品種小ロット」「短納期」「オールツール」が求められるようになってい
る。実際に作られた製品を紹介しながらデジタルモールド@プレスがもたらすメリットと今後の課題、可能性についてお伝えする。
また、東大阪からものづくりの活性化を目的としたプロジェクト「enjoymono」についても紹介。

3.交流会 17：15 ～ 末廣の間（2F） 会費 4000 円

会社・団体名		
所属・氏名	研究会 (出席:○、欠席:×)	交流会 (出席:○、欠席:×)

いわて3Dプリンタ活用研究会の会員でない団体様が、研究会への加入を希望する場合は、以下についても記載願います。

研究会に加入いただいた団体様には、研究会、研修会のお知らせを送付させていただきます。また、本研究会主催の研修会を優先的に受講いただけます。(年会費等は無料)

名称※1		
連絡先 ※2	案内状の送付先 (住所及び宛名)	住所： 封書の宛名：
	電話番号	
	FAX 番号	
	E-mail アドレス	

※1 団体として参加する場合は、団体名、個人として参加する場合は、個人名を記載願います。

※2 研究会の開催案内等の送付先等を記載願います。

岩手県立大学地域連携室あて

FAX 番号：019-694-3331

e-mail：3d_printer@ml.iwate-pu.ac.jp

FAX の場合は本申込書を、メールの場合は、上記内容をメール本文に記載の上、送付願います。